

豊かで住みよい町づくり

上勝

Vol.

70

議会だより

2018. 8. 1 発行



2P 定例会 補正予算

3P 審議案件と議決結果
(条例・予算他)

4P 主な質疑・討論

5P 一般質問
7名が町政について質問

12P まちのようす

平成30年

第3回上勝町議会定例会 審議案件と議決結果

(第3日) 平成30年6月22日(金) ○：賛成 ×：反対 -：議長が賛否に加わっていない場合

議案番号	件名	質 疑	討 論	結 果	岡 本 明	星 場 眞 人	松 下 和 照	渡 部 厚 子	鹿 島 國 男	片 山 文 昭	明 本 恵 一	岩 本 文 昭
議案第52号	専決処分の承認を求めることについて(専決第1号 平成29年度上勝町一般会計補正予算(補正第7号)について)	有	無	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第53号	専決処分の承認を求めることについて(専決第2号 上勝町税条例等の一部を改正する条例について)	無	無	"	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第54号	専決処分の承認を求めることについて(専決第3号 上勝町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について)	無	無	"	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第55号	上勝町税条例の一部を改正する条例について	有	有	原案可決	○	○	○	×	×	○	×	-
議案第56号	上勝町廃棄物処理及び再利用促進に関する条例の一部を改正する条例について	有	無	"	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第57号	上勝町乳幼児等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例について	無	無	"	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第58号	上勝町指定地域密着型サービス事業者等の指定に関し必要な事項を定める条例の一部を改正する条例について	無	無	"	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第59号	上勝町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	有	無	"	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第60号	上勝町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	無	無	"	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第61号	平成30年度上勝町一般会計補正予算(補正第1号)について	有	無	"	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第62号	平成30年度上勝町介護保険特別会計補正予算(補正第1号)について	無	無	"	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第63号	平成30年度上勝町後期高齢者医療特別会計補正予算(補正第1号)について	無	無	"	○	○	○	○	○	○	○	-
報告第64号	平成29年度上勝町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	無		報告								
報告第65号	平成29年度上勝町一般会計継続費繰越計算書の報告について	無		"								
報告第66号	株式会社かみかついきゅうの経営状況について	無		"								
報告第67号	株式会社上勝バイオの経営状況について	有		"								
報告第68号	株式会社ウインズの経営状況について	無		"								
報告第69号	株式会社もくさんの経営状況について	無		"								
報告第70号	株式会社いるどりの経営状況について	無		"								
	委員会の閉会中の継続調査について			承認								
	寄付の申し立てについて報告			報告								

第3回定例会

開 閉 会
会 会 期
平 平 11
成 成 日
30 30
年 年
6 6
月 月
22 12
日 日

専決第1号 平成29年度 一般会計補正予算 (補正第7号)

補正額(減額)

9,363万6千円

総 額

32億1,807万9千円

主な内訳

- 障害者福祉費(援助費) Δ 1,009万2千円
- 老人保護措置費(援助費) Δ 1,328万1千円
- 保育所運営費(業務委託料) Δ 2,450万円
- 災害救助費(災害弔慰見舞金 援助費) Δ 506万円
- ごみステーション整備費(旧ごみステーション撤去工事請負費) Δ 500万円
- 公債費利子 Δ 829万5千円

平成30年度 一般会計補正予算 (補正第1号)

補正額(追加)

4,968万5千円

総 額

31億1,568万5千円

主な内訳

- 農山漁村未来創造事業補助金(JA東とくしま上勝支所搾汁工場スライサー) 1,520万円
- 月ヶ谷温泉交流施設費(遊歩道床版等修繕) 331万7千円
- 道路維持費(工事請負費(町単)) 1,835万円
- 非常備消防費(工事請負費(町単))
 - ・ 防災行政無線スプリアス対応工事 967万7千円
 - ・ 旧福原分団落合詰所解体工事 582万8千円
 - ・ 耐震性貯水槽設置工事(3ヶ所減) Δ 2,656万8千円

平成30年度 介護保険特別会計補正予算 (補正第1号)

補正額(追加)

2,477万2千円

総 額

3億8,377万2千円

主な内訳

- 国県支出金精算返還金 1,704万3千円

平成30年度 後期高齢者医療特別会計補正予算 (補正第1号)

補正額(追加)

215万9千円

総 額

4,715万9千円

主な内訳

- 後期高齢者医療システム改修 129万6千円

生じないようにするため。県下で上勝町だけ残っている条例を廃止したい。

問 星場議員

全部特別徴収させるのが目的と聞こえるが。

答 井本税務課長

前納報奨金の廃止の目的は、普通徴収と特別徴収の不公平をなくすためである。

討論

反対 明本議員

上勝独特の良い制度。持続可能のため残すべき。

賛成 星場議員

事業者、雇用者両者にとっても良い結果になる。

反対 渡部議員

住民のために残すべき。

議案第61号 平成30年度上勝町一般会計補正予算(補正第1号)について

問 松下議員

エンジン消費について具体的に説明を。

答 俣示企画環境課長

環境や社会に配慮した製品やサービスを選んで消費すること。県の地方創生特区の補助金を持って実施するものです。

問 明本議員

都市農村交流センター等、大規模修繕事業繰入金が330万円計上されているが何用か。

答 吉積産業課長

基金より取り崩し月ヶ谷温泉センター交流施設工事請負費331万7,000円の事業費を出している。

問 鹿島議員

農山漁村未来創造事業県補助金の1,520万の用途は。

答 吉積産業課長

JA東とくしまの搾汁施設にロータリースライサー、搾りかすをカットするため4台入れる事業費で総額税込みで4,104万円です。

問 渡部議員

JAの搾りかすをスライス

してどんな商品にするのか。

答 吉積産業課長

今まで搾りかすはほかしていた。それを乾燥させてお菓子にしたり、6次化を図り、農家へ付加価値をつけて還元する取組みです。

問 片山議員

企画のコミュニケーション事業費の140万円はどういうものに使われるのか。

答 俣示企画環境課長

青年会の夏祭等イベントに使うテントの大小及び発電機コードリール等々です。

問 岡本議員

月ヶ谷温泉の歩道と突き当りの手すりについて新しい方法の含浸処理をするのか。

答 吉積産業課長

まだ業者は決まっていない。含浸処理をした分従来と同等以上の品質で出そうと考えている。

問 星場議員

温泉の遊歩道と4階の渡り廊下等現場で材料検収するの

答 吉積産業課長

請負工事で発注するので材料検収は行う。

議案第59号 上勝町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

問 星場議員

以前の、ゼロ・ウェイストアカデミーとの差はないのか。

答 俣示企画環境課長

そのままの金額を引き継いでいる。

問 松下議員

介護医療院は本町の場合どこが対象か。

答 吉積住民課長

介護医療院と認定される施設は、本町にはない。

問 松下議員

本町で利用する場合はどこへ行けば良いか。

答 吉積住民課長

現在、厚労省の条件を満たした介護医療院に認定されているのは、県内では大神子病院と鳴門山上病院の2施設だ。

問 松下議員

ワークショップ、住民ヒアリング、くるくる会議、アンケート調査等々と住民と共に計画を進めて来た。その中で「資源分別ガイドマップ」等も作成し、着々と進めている。現在も集落を巡回して随時説明に回っており、新たなご意見も賜れるものと思っている。

答 中原建設課長

福原住宅の生ゴミ処理は、近くの空地にコンポスター設置を検討中だ。

問 新ゴミセンターに併設した図書館計画は具体化されているか。

上勝方式を採用しておらず、焼却経費の軽減にメリットを見出している。

答 横山教育委員会事務局

新施設に情報発信スペースとして確保される予定で、規模と管理は今後企画環境課と検討する。

問 最近、二つの大きな受賞をされたが。

答 花本町長

「SDGs」の受賞は、町の取り組みが国際会議で認められた賞です。SDGsの受賞は、町の提案が認定された賞で、住民負担を軽減しつつ焼却埋立ゴミをゼロに近づける施策、彩産業を町の

問 最近、粗大ごみ等の不法投棄が増えたと聞くが、対応は適正か。

答 俣示企画環境課長

一昨年は8件、昨年は1件。今年の報告は2件だが急斜面で回収困難が1件ある。勝名町村で不法投棄を清掃・回収しているのは本町と佐那河内村だけだ。又、今年の一斉清掃は仮処理場が狭く実施できていない。

問 従来管理団体が提案した「資源センター」の呼称はどうなったか。

答 俣示企画環境課長

「資源センター」の提案は頂いたが、設管条例の呼称は今後の課題だ。

問 ゴミ発電の実験結果はどうか。生ゴミやし尿処理が可能ならゴミ処理を資源回収施設に特化してはどうか。

答 俣示企画環境課長

緑の分権改革事業で実験したが収支は赤字だ。液肥利用も難しく現上勝方式が最善だ。大木町は

2020年の「ゴミゼロ(オール資源化)」をどう実現するか。

星場

住民の知恵を生かし、住民と共に進める

町長



星場眞人 議員

答 花本町長

平成25年から5年かけ

問 斬新で素晴らしい新ごみセンター計画に、住民の意見を聞く機会を持ってないか。

問 ゴミ発電の実験結果はどうか。生ゴミやし尿処理が可能ならゴミ処理を資源回収施設に特化してはどうか。

答 俣示企画環境課長 緑の分権改革事業で実験したが収支は赤字だ。液肥利用も難しく現上勝方式が最善だ。大木町は



着々と進む新ごみセンターの材料検収

産業に根付かせる施策、そして教育の充実施策だ。持続可能な町づくり計画をしっかりと推進したい。

予算執行に当たり、前倒し発注されたい

問 俣示住宅外壁工事等を台風シーズン前に発注・施工されたい。

答 中原建設課長

塗装は雨の多い時期を

問 町道管理は交通事故等の予防に努め、住民の安全確保に専念せよ。

答 中原建設課長

路面補修は緊急性が低いと路肩注意の表示等で対応する。道に出た枝葉は地主の責任で伐採等の対応をされたい。危険情報には即応したい。



明本 恵一 議員

町政を問う

住民の声を聞く行政を

町長 明本

アンケート等で充分聞いている

町長

ゴミセンター、建設費節減は

問 設計変更で経費節減出来たか。

答 花本町長

屋根部分で1,700万円減額した。

問 抜本の変更がない。また入札辞退が起こるのでは。

答 花本町長

事態が起こらないよう注意する。

答 花本町長
計19回の打ち合わせを行った。

答 吉積産業課長
社長及び役員報酬は支出していない。寄付金ではない。

答 吉積産業課長
14万439本購入し、3月31日の在庫数にして6万2,631本だ。単価231円を乗じ期末棚卸し額は1,446万7,761円だ。

積み修復作業を町内6カ所など。カヤぶき民家花野邸屋根の修復、浄化槽設置。彩産業の研究は、マイクロ葉ワサビの商品化、袋入り葉ワサビの商品化など実施。

問 上期2,400万円赤字、下期975万円赤字予想が、一転「減益増収」424万円黒字とした。決算書にからくりがあるのでは。

答 吉積産業課長
29年度81,047個で18,859,750円だ。

問 住民から疑問や意見が出ている。成果は。

問 活動費2千万円の配分は。

問 住民説明会がなされず、住民意向が反映されていない。90余連名で説明会要求が出た。

問 施設使用料の100万円免除は違法だ。黒字なら町に払い戻せ。

答 傍示企画環境課長
徳大と協力して「ゆこうジンジャーシロップ」等を開発。

答 傍示企画環境課長
29年度の決算では、117万2千円が活動費。昨年度隊員8名。報酬は一人16万5千円。トータルで燃料費が97万5千円。



中山ハウスの状況

問 製造原価報告書に材料費の計上がない。空中に椎茸を発生させたか。

問 住民から疑問や意見が出ている。成果は。

答 傍示企画環境課長
29年度の決算では、117万2千円が活動費。昨年度隊員8名。報酬は一人16万5千円。トータルで燃料費が97万5千円。

答 吉積産業課長
従業員の努力、地域協力、椎茸の高単価による。

答 吉積産業課長
29年度はブロック製造していない。損益計算書に商品仕入高として計上してある。

問 住民から疑問や意見が出ている。成果は。

問 活動費2千万円の配分は。

人件費について

問 社長の報酬は。社長夫の帳付等労働は寄付金か。

問 ブロックは椎茸造りの原材料だ。何個仕入したか。



請負決まらず野積みされた主要部材

問 活動費2千万円の配分は。

片山

産業課長

町政を問う

林業振興策検討委員会の設立後の経過は

新林業事業体の設立を目指し骨子を取りまとめたところ



片山 文昭 議員

林業振興策検討委員会の協議事項は

問 検討委員会は、どのくらい開催されたのか。

答 吉積産業課長

平成29年に8回開催した。

問 検討委員会で協議した内容は。

答 吉積産業課長

仮称森林環境税の受け皿となり得る、一般社団法人の設立を目指している。

仮称森林環境税では、森林所有者が管理出来ない場合、町が所有者より

管理委託を受け、林業経営体につなぐ仕組みを設ける。

問 昭和60年に着工し30数年の歳月が経過しているが、町内3工区どこも完成していない。進捗率は。特に第2工区の橋は、通行出来ないまま老朽化が進んでいる。完成の見込みは。



東部広域農道通行止の橋(正木)

広域農道の完成時期は

問 昭和60年に着工し30数年の歳月が経過しているが、町内3工区どこも完成していない。進捗率は。特に第2工区の橋は、通行出来ないまま老朽化が進んでいる。完成の見込みは。

答 吉積産業課長

林業アカデミー等と連携しながら確保を考えている。

しかし、後継者確保は難しいと思う。今後は、補助が出来るような取り組みを進めていきたい。

答 中原建設課長
1工区が80.9%、2工区が99%、3工区が82.7%。
2工区の完成時期は、平成32年度を目指している。

ゴミステーション周辺の整備計画は

問 ゴミ収集の行政と町民の取り組み、特に住民の協力が高く評価され受賞されたと報道された。今後視察者も増えると思うが、周辺の整備はどうなっているのか。

答 傍示企画環境課長

北側には、桜、ヤマモモの植栽やアート作品がある。今年、2回分の予算を計上している。

問 いっきゅう茶屋の対岸に、以前遊歩道を開設し整備していたが放置されている。

答 傍示企画環境課長

南側の杉の木を伐採した箇所と併せて整備計画は。

ステーション完成までに整備するのか。

答 傍示企画環境課長

いっきゅう茶屋周辺は、1Q運動会、福原名の協力によりコミュニティ事



改良が進む福川福原線(正木)



松下和照 議員

減反政策で得たものは何か

松下

米価安定と生産調整を行う農業政策

産業課長

問 減反政策で農家が得たもの、失ったものは何か。

答 美しい棚田風景が失われ、伝統ある農業文化も失われつつある。

問 平成30年から交付金10アール7,500円所得補償がなくなる。新制度・収入保険制度とは。

答 吉積産業課長 米作農家の生産調整を行う農業政策。米価維持と経営安定を目的として協力した小規模農家に補助金で助成し、転作の方向に導いた。しかし水田面積の減少、放棄地の増大により農家戸数減少し

答 吉積産業課長 農業の国際競争力を上げるため農業共済組合が窓口となり青色申告絶対

条件に農家の収入が9割を下回ったとき、下回った額の9割を補填してくれる制度。情報が入り次第詳しく説明する。

問 規模の拡大又減少も進み酒米や飼料米の上勝町内での作付程度や補助金はどの程か。

答 吉積産業課長 酒米、飼料米の作付面積の把握は産業課で出来ていない。飼料米については55,0000〜105,0000円の交付金が支払われるが町内での制度活用はない。酒米の量については「キヌヒカリ」6トン、「山田錦」3トンで面積把握はしていない。

問 上勝町内への移住者でいるどり・棚田等定着は進んでいるか。

答 吉積産業課長 移住者は、野菜づくりやいりどりを計画する人が多く棚田を希望する方はまれで国の方針である

規模拡大等中間管理機構の実績がまだない。

問 米の有望な販路について広い視野で見てどうか。

答 花本町長 大量に一定の期間出すというのがむずかしい。少量でも徳島新鮮なつく市とか、道の駅等少量でも共同して一定量揃えれば進出できると考える。

問 生物多様性を含む棚田の持つ重要性について理解と情報発信を。



棚田の風景

答 吉積産業課長 本町ではいつきゅう地区・檜原地区であったり棚田での農業の取組みが行われ、自然環境との補完性、水質の良さから生物多様性により生態系の維持等多面的機能を持つ棚田の重要性について情報発信していきたい。

第三セクターの黒字決算について

問 棚上勝バイオは、少数精鋭の効果も出て黒字

決算、また株もくさんも受注の努力もあり黒字決算となった。長年第三セクターの赤字に苦勞した責任者の思いと、3月表明された林業振興についての考え方は。

答 花本町長

町長になってから多くの資金を投入させていた。職員時代から赤字決算続きたったが、平成29年度は従業員等の努力、シイタケの高騰、経営者の配慮もあって黒字決算となった。上勝から7名の職場確保ができた。株もくさんは、今の社長になって営業努力と多くの方々の協力により良い結果となった。森林環境税を持って、林業全体をつくっていく。その中で株もくさんの立ち位置がどうなるか、木材の切り出しや森林管理、又は不燃材等で挑戦するのか協力できる分については支援を考えたい。

問 地域おこし協力隊員数名が支援事業者から離脱したいと聞いたが。

答 傍示企画環境課長

人間関係の不信でこじれている。事業者も言いすぎた点はあったと聞いているが、協力隊の言い分が全て本当ではないということもあり、現在調査中である。

問 金銭的な不正はなかったか。

答 花本町長

今の調査の中では不正はない。それぞれの取り方で妥当な範囲と聞いている。

それと、協力隊は一大決心をして今までの職場をやめてまで来ている方なので、今後どのようにやっていくかしっかり聞き取って支援して行きたい。



渡部厚子 議員

民俗資料館の必要性は今は白紙状態

渡部

教育委員会

文化財保存 伝承の計画は

問 文化振興基金は十分に積み立てられたとのことで、目的の文化財保存伝承の計画に取り組んでいるか。

答 横山教育委員会 事務局長

他町村を調べると、保存伝承施設が単なる倉庫になっていたり、老朽化して建て直しをためらっている所もある。本町の

ような過疎地では後世にツケを残さないよう慎重に検討したい。

問 では、民具などは他の町の資料と一緒にずつと放っておくのか。

答 横山教育委員会 事務局長 基金を積んだからには

何らかの施設が必要と思っっているが今は白紙状態である。

第三セクターを 優遇しすぎでは

問 地場産業活性化人材確保事業とは。また、なぜ三セクだけに適用するのか。

問 この二つの事業はそれぞれ目的が違う。そして三セクは両方使えるのに一般企業は片方だけだ。不公平ではないか。

答 花本町長

三セクと一般企業と、支援に関して若干差があっても問題ないと思っ

地域おこし 協力隊員の活動は



鹿島 國男 議員

小、中学校のエアコンは

鹿島

31年度に工事予定

教育長

問 小、中学校のエアコンは。

答 立川教育長

30年度設計で、31年度に補助申請を行い認められれば工事をする。

問 小学校の英語指導は。

小学校の外国語活動は、2011年より実施。5年生・6年生は年間35単位、2018年より実施。5年生・6年生は週2時間、3年生・4年生は週1時間、1年生・2年生は隔週で学級担任、ALT、英語科学習指導補助員の3名で指導している。

問 中、高校生の海外留学は。

答 傍示企画環境課長

短期フイジー留学については、町が教育の充実のために比較的安心して語学の学校が充実しているので企画している。それ以外でも、上勝町人材確保成事業の中の海外研修事業ということで行っている。補助額は、国県の補助がある場合は残りの50%以内、最大30万円まで補助。(参加経費50才まで。)

企業の研修について

問 上勝町に企業が研修に来ているが、そのプログラムは。

答 傍示企画環境課長

企業から依頼がありその企業と相談して研修に沿う形で、彩山の苗木の植栽や各農家への派遣、遊歩道や山犬獄の手入れなど。今後も彩山では、収穫や管理実習も可能に。今後も多くの企業に彩山や町内のフィールドを活用できるように整備したい。

防火水槽の数と場所は

問 新設の防火水槽の数と場所は。

答 細末総務課長

今年度は、傍示の鶯地区、福原の月ヶ谷地区、生実の府殿地区の3ヶ所。

県道の改良工事は

問 県道の今後の計画は。

答 中原建設課長

県道徳島、上那賀線の

未改良区間の改修に向け、下菅蔵地区から川口地区、八重地地区で拡幅工事を実施。中村地区の局部改良工事、傍示地区の下地の落石対策等を実施。

大北の山腹崩壊について

問 大北の山腹崩壊の工事は。

答 中原建設課長

大北の道路の崩壊につ

問 生活道であり救急車も通るので。

答 中原建設課長

仮設道路は契約しており7月より工事にかかり8月末に完成予定。



雄中面線の災害現場

町道について

問 旭基幹集落センター前にかかる橋(堂平橋)が曲がりにくい。橋の改良は出来ないか。

答 花本町長

住宅施策は非常に重要と考えている。今年度、2ヶ所の測量設計を計画している。もう1ヶ所候補地があり、話は煮詰めしていないが、まとまれば住宅地として考えている。

問 測量設計、詳細設計、橋梁の補修と合わせた計画は28年度に済んでいる。予算を見ながら検討したい。周辺整備(櫻、桜の木)や建物があり、状況を調べた上で対応したい。

答 中原建設課長

測量設計、詳細設計、橋梁の補修と合わせた計画は28年度に済んでいる。予算を見ながら検討したい。周辺整備(櫻、桜の木)や建物があり、状況を調べた上で対応したい。



岡本 明 議員

第三セクターに対し、なぜ対策をしないのか。

岡本

各社持ち帰り検討している

産業課長

地域創成について

問 町内で林業労働者が平成26年には17名であったが、成果目標として、平成31年に22名としている。報告は、平成29年度に20名となり、3名増加と聞くが、町は何をしたか。また、目標達成の為に何をしていくのか。

答 吉積産業課長

平成26年7月現在、徳島中央森林組合上勝支所における職員及び労務班の人数(17名)をもとに作成した。3人増の内容は、森林組合の臨時雇用があった。町においては、森林組合の各種事業をサポートし、安定した雇用・

第三セクターについて

問 第三セクターに対して、各議員から意見、要望が多く出ているが、なぜ対策などをしないのか。

答 吉積産業課長

議員よりいただいた意見や要望について、各社持ち帰り、対応を検討し、すぐに実施できる事は対応している。高額な予算が必要になる機具・設備・改修等については提案を基に相談をしている。予算確保の問題もあり、優先順位をつけ、計画的に実施をしている。

移住について

問 移住についての問い合わせと移住者は昨年からいくらか。

問 傍示企画環境課長

昨年の相談件数は23件、それと別に、県外では32件、本年は6月14日までに新規20件が来ている。移住者は、平成28〜29年に10名増えた。今年度は、移住冊子・ポータルサイト等を作ったのでさらに増えると思う。

問 移住目的者が断念した理由は。

答 傍示企画環境課長

農業経験はないが挑戦してみたいと3件程相談があった。受け皿・農地の借用、技術の習得などの問題があり、見送った。店舗兼住居などの物件と、畑を求めていたが、空き家のマッチングがうまくいかなかった。改修費の問題、家主とのタイミングが合わない、単身用住宅に空き家がない、登録物件は改修費がかかり断念した。人によって様々である。

問 空き家の問題、住む所の問題が、移住には大



県道16号線(堂平橋周辺)

まちのようす



茶摘み



檜原の棚田ガール



消防操法県大会出場（福川分団）



彩保育園児による田植え



いろどり橋 渡橋式



福原分団詰所開所

編集後記

今年の梅雨はどうしたところか。西日本で荒れまくり、尊い命が多数失われました。国は特別予算をいち早く計上し復旧・復興に尽力すべきだ。

今年2月、九州東峰村を訪ね恐しい線状降水帯の発生による豪雨の話聞いた。上勝町も九州や広島に変わらぬ降水があり、約2週間毎日心配な日々を過ごした。昨年以上の暑い6月を送り7月も早中旬、今年も香り豊かな晩茶摘みの季節。夏にむかって健康管理、ふと恩師の言葉を思い出した。

「来る秋は雨があらしが知らねども 今日の仕事の田草取るなり」

（松下）

